

国際競争拠点都市整備事業（国際競争流通業務拠点整備事業）

新規事業採択における客観的評価指標（案）

<事業の効果や必要性を評価するための指標>

<p>評価項目 (各項目でいずれかの指標を 満足すること)</p>	<p>評価指標（該当する項目にチェック）</p>
<p>1. 国際競争力の強化</p>	<p><input type="checkbox"/>施設の高度化・業務の効率化 物流施設の高度化により、業務が効率化する。</p> <p><input type="checkbox"/>貨物車交通の円滑化 物流施設の共用アプローチ及び交通広場・通路整備や、大型貨物車対応化等により、施設を利用する貨物車の交通が円滑化する。</p> <p><input type="checkbox"/>施設内作業の効率化 物流施設の高機能化により、施設内の作業が効率化する。</p> <p><input type="checkbox"/>宅地整備による利便性向上 土地区画整理事業に伴う物流施設の前面道路の拡幅及び容積率増加等により利便性が向上する。</p> <p><input type="checkbox"/>国際物流のシームレス化 物流施設の高機能化により、物流資材の標準化等への対応が可能となる。</p> <p><input type="checkbox"/>品質の確保 物流施設の高機能化及び敷地内外の交通の円滑化等により、温度管理、定時性、速達性などの物流における品質が向上する。</p>
<p>2. 防災機能の向上</p>	<p><input type="checkbox"/>地域の安全性向上 土地区画整理事業に伴う公園、広場等のオープンスペースの増加や緊急車両のアクセス確保等により地域の安全性が向上する。</p> <p><input type="checkbox"/>施設の安全性向上 物流施設の不燃化・耐震化により、防災性が向上する。</p> <p><input type="checkbox"/>施設のBCP対応化 災害時において、物流施設の業務継続が可能となり、サプライチェーンの維持に貢献する。</p> <p><input type="checkbox"/>災害時支援 災害時において、周辺からの避難受け入れ、救援物資の協力、緊急避難道路の確保などに貢献する。</p>
<p>3. 都市環境の改善</p>	<p><input type="checkbox"/>周辺交通の円滑化 物流施設の共用アプローチ及び交通広場・通路整備や、大型貨物車対応化等により、物流施設周辺道路の交通が円滑化する。</p> <p><input type="checkbox"/>施設整備等による快適性向上 公園、広場等の公共用地の整備や街路樹等の施設整備により、周辺環境の快適性が向上する。</p> <p><input type="checkbox"/>環境負荷の軽減 物流施設への太陽光パネル設置による省エネルギー効果、緑化面積の増加によるCO<sub>2</sub>削減効果、交通広場や通路整備等による自動車の排出ガス削減効果等が見込まれる。</p>

4. その他	<p><input type="checkbox"/>交通安全の向上 歩車分離の確保や交差点の改良等により、物流施設内及び敷地周辺の交通安全が向上する。</p> <p><input type="checkbox"/>騒音の低減 物流施設の高機能化及び騒音対策の実施により、施設周辺への騒音が低減する。</p> <p><input type="checkbox"/>事業の効率性（必須項目） 便益が費用を上回っている（<math>B/C \geq 1.0</math>）。</p> <p><input type="checkbox"/>地区要件への適合（必須項目） 国際競争流通業務地域再生促進計画の地区内で実施される。</p> <p><input type="checkbox"/>連鎖型再開発を誘発する効果 事業実施により、物流施設を連続的に更新しながら開発するための種地を生み出す。</p>
--------	---